

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券
信 託 期 間	2019年3月26日から2024年1月25日
運 用 方 針	安定的な収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日興アセットマネジメント株式会社が運用する「デンマーク・カバードボンド・ファンド（為替ヘッジあり・適格機関投資家向け）」を主要投資対象とします。
組 入 制 限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。外貨建資産への直接投資は行いません。デリバティブの直接利用は行いません。
分 配 方 針	毎年3月、9月の各25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として収益の分配を目指します。分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。※ただし、第1期の決算時においては収益分配を行いません。

デンマーク・カバード債券・
インカムファンド2019-03
（為替ヘッジあり）

運 用 報 告 書（全 体 版）

第5期（決算日 2021年9月27日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、「デンマーク・カバード債券・インカムファンド
2019-03（為替ヘッジあり）」は2021年9月27日に第5
期の決算を行いました。
ここに期間中の運用状況についてご報告申しあげ
ます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあ
げます。

スカイオーシャン・アセットマネジメント

〒220-8611 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-1-1

<照会先> ホームページ：<https://www.soam.co.jp/>
サポートデスク：045-225-1651
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率		
(設定日)	円			円	%	百万円
2019年3月26日	10,000	—	—	—	—	9,041
1期(2019年9月25日)	9,993	—	—	△0.1	99.5	16,712
2期(2020年3月25日)	9,461	20	20	△5.1	98.9	13,479
3期(2020年9月25日)	10,025	20	20	6.2	98.9	13,460
4期(2021年3月25日)	9,839	20	20	△1.7	97.5	11,980
5期(2021年9月27日)	9,539	20	20	△2.8	97.9	10,448

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

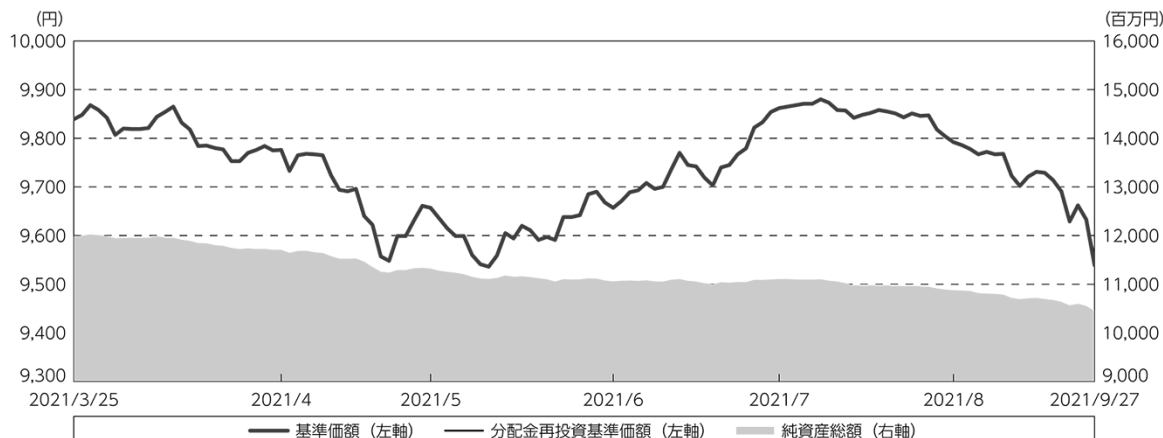
年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首)	円		%	%
2021年3月25日	9,839	—	—	97.5
3月末	9,842	0.0	0.0	97.5
4月末	9,776	△0.6	△0.6	98.0
5月末	9,657	△1.8	△1.8	98.7
6月末	9,657	△1.8	△1.8	98.5
7月末	9,862	0.2	0.2	98.8
8月末	9,792	△0.5	△0.5	98.2
(期 末)				
2021年9月27日	9,559	△2.8	△2.8	97.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

（2021年3月26日～2021年9月27日）

期中の基準価額等の推移



期 首：9,839円

期 末：9,539円（既払分配金（税込み）：20円）

騰落率：△ 2.8%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2021年3月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主な投資対象である「デンマーク・カバードボンド・ファンド（為替ヘッジあり・適格機関投資家向け）」の基準価額（分配金再投資ベース）が下落したことから、当ファンドの基準価額（分配金再投資ベース）も下落しました。

組入ファンド	投資資産	当期末 組入比率	騰落率
デンマーク・カバードボンド・ファンド（為替ヘッジあり・適格機関投資家向け）	デンマークのカバード債券	97.9%	-2.6%
FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）	わが国の公社債	0.0%	-0.1%

（注）比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。騰落率は当ファンドの前回決算日からのものです。

（注）騰落率は分配金再投資ベースです。

投資環境

当期間におけるデンマーク・カバード債券の債券価格は軟調に推移しました。国債に対する信用スプレッド（利回り格差）が拡大し、投資対象市場の利回りが上昇（債券価格は下落）しました。

欧州では新型コロナウイルス・ワクチンの接種ペースが加速するなか、経済の再開が勢いを増しており、それに伴って景気回復のペースも加速しました。EU（欧州連合）の2021年第2四半期の国内総生産（GDP）成長率は、規制の緩和を受けて個人消費が活発化したことから、前期比2.1%となり、2四半期連続のマイナス成長からプラス成長に転じました。サービスおよびレジャー・セクターの稼働率が上昇するなか、継続している堅調な景気回復は、復興基金制度（次世代のEU）の下で合意された大規模な景気刺激策の実施にも支えられて、翌四半期以降も続くものと思われます。ただ、旅行業界を中心によく回復の兆しが見られ始めているなかで、デルタ型変異株の世界的な流行は依然としてテールリスク（発生確率は低いものの、発生すると非常に大きな損失を被ることになるリスク）となっています。

欧州中央銀行（ECB）の会合において、理事会は新たなインフレ目標を対称的な2%に設定することを改めて表明しています。現在の中期的な見通しがこの水準を下回って推移していることから、少なくとも現時点では、政策金利が早期に引き締められるリスクは大きく後退しています。ECBは非常に緩和的な金融環境を維持するために、パンデミック緊急購入プログラム（PEPP）を維持するとしましたが、ここ数ヶ月の金融環境の改善を反映してペースを落とすことを決定しました。PEPPに割り当てた総額のうち5,000億ユーロが依然残っていることから、PEPPの買い入れは引き続き実施され、2022年第1四半期末までに総額1.85兆ユーロの枠で柔軟に（緩和的な金融環境を維持するために）行われ、満期を迎えた債券の再投資はその翌年末まで続けられる見込みです。

当ファンドのポートフォリオ

○当ファンド

「デンマーク・カバードボンド・ファンド（為替ヘッジあり・適格機関投資家向け）」への投資を高位に保つ運用を行いました。

・デンマーク・カバードボンド・ファンド（為替ヘッジあり・適格機関投資家向け）

全体的なバリュエーション（価値評価）水準に留意しつつ、足元の大幅なリスクプレミアムがモーゲージ債に織り込まれていることを受けて、期限前償還分を再投資するとともにデュレーションをやや長めに維持しました。

対円でのも為替ヘッジのプレミアム※は概ね0.30%～0.40%前後で推移しました。

※対デンマーク・クローネの直物為替レートと為替予約レートとの価格差等から簡便的に算出したものです。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

分配金

分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益、基準価額水準等を考慮して以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第 5 期
	2021年 3 月26日～ 2021年 9 月27日
当期分配金	20
（対基準価額比率）	0.209%
当期の収益	20
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	67

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

○当ファンド

「デンマーク・カバード債券・ファンド（為替ヘッジあり・適格機関投資家向け）」への投資を通じて、主としてデンマークのカバード債券に投資します。

・デンマーク・カバード債券・ファンド（為替ヘッジあり・適格機関投資家向け）

元金収入を再投資するとともに、ポートフォリオ全体のデュレーション・ポジションを維持していく方針です。新型コロナウイルスによる影響が深刻化する場合には、ポジションを小幅に調整してニュートラルとする方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行います。

・F0Fs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）

主としてわが国の公社債に投資を行い、安定した運用を目指します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年 3 月26日～2021年 9 月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 26	% 0.263	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(8)	(0.081)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(16)	(0.168)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.003	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	26	0.266	
期中の平均基準価額は、9,764円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

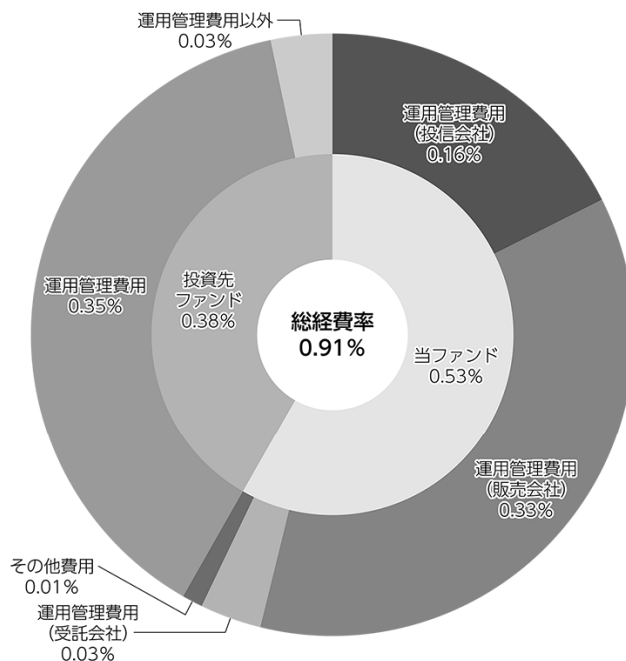
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.91%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	0.91
①当ファンドの費用の比率	0.53
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.35
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.03

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年3月26日～2021年9月27日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	デンマーク・カバード債券・ファンド(為替ヘッジあり・適格機関投資家向け)	口 —	千円 —	口 1, 132, 017, 116	千円 1, 110, 000

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2021年3月26日～2021年9月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年3月26日～2021年9月27日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年3月26日～2021年9月27日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2021年9月27日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
		口	口	千円	%
デンマーク・カバード債券・ファンド(為替ヘッジあり・適格機関投資家向け)		11, 725, 138, 252	10, 593, 121, 136	10, 224, 480	97. 9
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)		100, 939	100, 939	99	0. 0
合計		11, 725, 239, 191	10, 593, 222, 075	10, 224, 580	97. 9

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

（2021年9月27日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	10,224,580	97.2
コール・ローン等、その他	295,685	2.8
投資信託財産総額	10,520,265	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する評価額の割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年9月27日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,520,265,451
コール・ローン等	195,685,406
投資信託受益証券（評価額）	10,224,580,045
未収入金	100,000,000
(B) 負債	71,348,965
未払収益分配金	21,908,523
未払解約金	19,487,790
未払信託報酬	29,636,892
未払利息	536
その他未払費用	315,224
(C) 純資産総額（A－B）	10,448,916,486
元本	10,954,261,579
次期繰越損益金	△ 505,345,093
(D) 受益権総口数	10,954,261,579口
1万口当たり基準価額（C／D）	9,539円

（注）当ファンドの期首元本額は12,176,724,011円、期中追加設定元本額は6,504,573円、期中一部解約元本額は1,228,967,005円です。

（注）1口当たり純資産額は0.9539円です。

（注）2021年9月27日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は505,345,093円です。

○損益の状況（2021年3月26日～2021年9月27日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	52,553,330
受取配当金	52,661,879
支払利息	△ 108,549
(B) 有価証券売買損益	△329,630,004
売買益	14,792,579
売買損	△344,422,583
(C) 信託報酬等	△ 29,952,116
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△307,028,790
(E) 前期繰越損益金	△167,509,351
(F) 追加信託差損益金	△ 8,898,429
（配当等相当額）	（ 1,809,108）
（売買損益相当額）	（△ 10,707,537）
(G) 計（D＋E＋F）	△483,436,570
(H) 収益分配金	△ 21,908,523
次期繰越損益金（G＋H）	△505,345,093
追加信託差損益金	△ 8,898,429
（配当等相当額）	（ 1,809,108）
（売買損益相当額）	（△ 10,707,537）
分配準備積立金	72,319,242
繰越損益金	△568,765,906

（注）損益の状況の中で（B）有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注）損益の状況の中で（C）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注）損益の状況の中で（F）追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）計算期間末における費用控除後の配当等収益（22,601,214円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（1,809,108円）および分配準備積立金（71,626,551円）より分配対象収益は96,036,873円（1万口当たり87円）であり、うち21,908,523円（1万口当たり20円）を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	20円
-----------------	-----

○お知らせ

該当事項はございません。

デンマーク・カバードボンド・ファンド (為替ヘッジあり・適格機関投資家向け)

運用報告書(全体版)

第20期(決算日 2020年11月16日) 第22期(決算日 2021年1月18日) 第24期(決算日 2021年3月16日)
第21期(決算日 2020年12月16日) 第23期(決算日 2021年2月16日) 第25期(決算日 2021年4月16日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
「デンマーク・カバードボンド・ファンド(為替ヘッジあり・適格機関投資家向け)」は、2021年4月16日に第25期の決算を行ないましたので、第20期から第25期の運用状況をまとめてご報告申しあげます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券（私募）		
信 託 期 間	2019年3月15日から2029年4月16日までです。		
運 用 方 針	主として、「デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要運用対象	デンマーク・カバードボンド・ファンド （為替ヘッジあり・適格機関投資家向け）	「デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3」受益証券を主要投資対象とします。	
	デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり） マザーファンド3	デンマークのカバードボンドを主要投資対象とします。	
組 入 制 限	デンマーク・カバードボンド・ファンド （為替ヘッジあり・適格機関投資家向け）	株式への実質投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
	デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり） マザーファンド3	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
分 配 方 針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。		

<644641>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率		
(設定日)	円		円	%	%	百万円
2019年3月15日	10,000	—	—	—	—	10
1期(2019年4月16日)	10,105		10	1.2	103.2	11,646
2期(2019年5月16日)	10,159		0	0.5	97.3	17,059
3期(2019年6月17日)	10,200		0	0.4	96.7	17,095
4期(2019年7月16日)	10,166		0	△0.3	99.5	17,017
5期(2019年8月16日)	10,203		0	0.4	96.4	16,997
6期(2019年9月17日)	10,161		0	△0.4	96.9	16,752
7期(2019年10月16日)	10,143		0	△0.2	100.5	18,508
8期(2019年11月18日)	10,103		0	△0.4	100.8	18,164
9期(2019年12月16日)	10,111		0	0.1	102.0	17,601
10期(2020年1月16日)	10,146		0	0.3	96.4	17,301
11期(2020年2月17日)	10,130		80	0.6	97.1	16,948
12期(2020年3月16日)	10,083		8	△0.4	96.8	16,570
13期(2020年4月16日)	9,884		8	△1.9	97.1	15,803
14期(2020年5月18日)	9,955		8	0.8	97.0	15,809
15期(2020年6月16日)	10,018		8	0.7	101.3	15,779
16期(2020年7月16日)	10,054		8	0.4	100.6	15,776
17期(2020年8月17日)	10,108		8	0.6	103.9	15,727
18期(2020年9月16日)	10,164		8	0.6	102.1	15,545
19期(2020年10月16日)	10,193		8	0.4	99.3	15,376
20期(2020年11月16日)	10,168		8	△0.2	99.5	15,089
21期(2020年12月16日)	10,235		8	0.7	99.3	14,985
22期(2021年1月18日)	10,217		8	△0.1	99.5	14,529
23期(2021年2月16日)	10,107		8	△1.0	100.9	14,128
24期(2021年3月16日)	9,998		8	△1.0	100.5	13,931
25期(2021年4月16日)	9,896		8	△0.9	101.2	13,631

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比 率
			騰 落 率	
第20期	(期 首)	円	%	%
	2020年10月16日	10,193	—	99.3
	10月末	10,170	△0.2	98.2
	(期 末)			
	2020年11月16日	10,176	△0.2	99.5
第21期	(期 首)			
	2020年11月16日	10,168	—	99.5
	11月末	10,204	0.4	99.8
	(期 末)			
	2020年12月16日	10,243	0.7	99.3
第22期	(期 首)			
	2020年12月16日	10,235	—	99.3
	12月末	10,249	0.1	100.8
	(期 末)			
	2021年1月18日	10,225	△0.1	99.5
第23期	(期 首)			
	2021年1月18日	10,217	—	99.5
	1月末	10,223	0.1	99.8
	(期 末)			
	2021年2月16日	10,115	△1.0	100.9
第24期	(期 首)			
	2021年2月16日	10,107	—	100.9
	2月末	9,904	△2.0	101.8
	(期 末)			
	2021年3月16日	10,006	△1.0	100.5
第25期	(期 首)			
	2021年3月16日	9,998	—	100.5
	3月末	9,929	△0.7	100.8
	(期 末)			
	2021年4月16日	9,904	△0.9	101.2

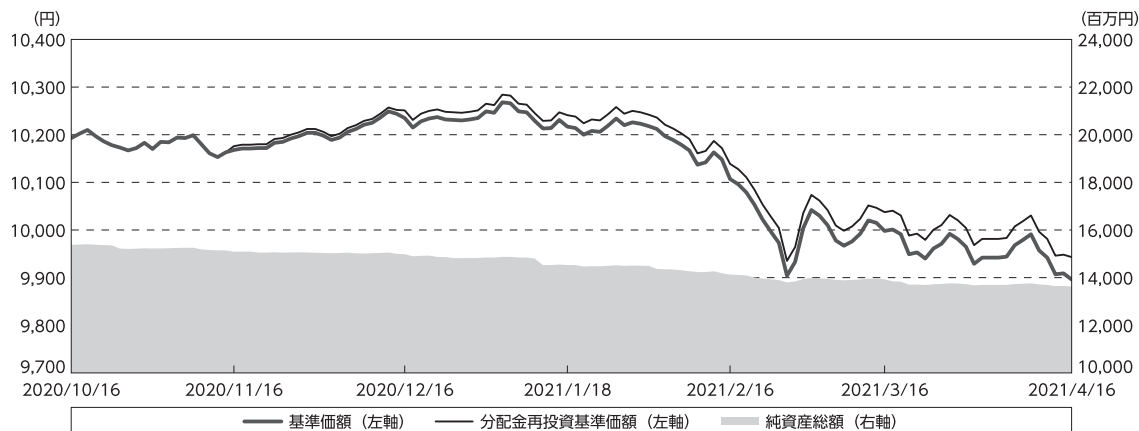
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2020年10月17日～2021年4月16日）

作成期間中の基準価額等の推移



第20期首：10,193円

第25期末：9,896円（既払分配金（税込み）：48円）

騰落率：△2.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2020年10月16日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、金融機関が保有する債権を担保とするデンマーク・クローネ建てのカバードボンドに実質的に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・投資債券からのインカム収入を得たこと。
- ・信用スプレッド（利回り格差）が縮小したこと（期間の初め～2020年末）。

<値下がり要因>

- ・信用スプレッドが拡大したこと（期間末）。
- ・投資債券の利回りが上昇（債券価格は下落）したこと。

投資環境

（デンマーク債券市況）

期間中のNykredit Totalインデックスは、マイナスリターンとなりました。デュレーション（金利感応度）は約3年長期化して6.6年程度となりました。

足元における新型コロナウイルスの感染拡大の波の深刻さを受けて、欧州諸国の複数の政府は様々なロックダウン（都市封鎖）措置の導入や、実施中のソーシャルディスタンス制限の延長を余儀なくされました。概してワクチン接種が期待されたほど進んでいないなか、より感染力の強い変異株の感染拡大が続いており、中東欧諸国だけでなく主要国も含め欧州の多くの国が入院患者数の増加に悩まされています。ソーシャルディスタンスの規制が再度強化されるなか、やはりサービス業は圧迫されており、直近2021年3月のサービス業購買担当者景気指数（PMI）の確報値が依然として好不況の分かれ目となる50を下回るなど、同セクターの低迷継続が改めて浮彫りとなりました。サービス業PMIとは対照的に、製造業の活動は勢いを維持しており、3月のユーロ圏製造業PMIは市場予想を大幅に上回る62.5となりました。製造業の好調を受けて、2020年第4四半期のユーロ圏国内総生産（GDP）成長率は市場予想を上回って前期比マイナス0.7%と若干のマイナスとなり、今般の相つぐロックダウン実施にもかかわらず当初の予想よりもマイナス幅は小幅にとどまりました。欧州は新型コロナウイルスの感染拡大第3波に見舞われていることから、2021年第2四半期に入っても厳格なソーシャルディスタンス措置が維持される見込みです。そうしたなか、この先のワクチン接種の進展を巡る不透明感が引き続き市場センチメントを圧迫しており、2021年の後半になるまで景気の急回復は期待できないとみています。

欧州中央銀行（ECB）は直近の金融政策決定会合において、金融緩和を長期間維持する方針を再度強調し、幅広い意味において柔軟にかつ緩和的な金融環境を維持することに重点を移しました。最新のECB銀行貸出調査によると2020年第4四半期には全般的に貸出態度が厳格化していたことから、これは予想外な動きではないように思われます。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大継続と借り手の信用リスクを巡る懸念が銀行の間で強まっており、与信基準は一段と厳しくなる見込みです。直近の債券利回りの上昇傾向を受けて、ECBはパンデミック（世界的な大流行）によるインフレ見通しへの下押し圧力に対処しているなか逆にそれを助長してしまう金融環境の引き締めを回避するために、パンデミック緊急購入プログラムのもとで次の四半期に資産買入れペースを加速させることとしました。

当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3）

全体的なバリュエーション（価値評価）水準に留意しつつ、足元の大幅なリスクプレミアムがモーゲージ債に織り込まれていることを受けて、期限前償還分を再投資するとともにデュレーションをやや長めに維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第20期	第21期	第22期	第23期	第24期	第25期
	2020年10月17日～ 2020年11月16日	2020年11月17日～ 2020年12月16日	2020年12月17日～ 2021年1月18日	2021年1月19日～ 2021年2月16日	2021年2月17日～ 2021年3月16日	2021年3月17日～ 2021年4月16日
当期分配金 (対基準価額比率)	8 0.079%	8 0.078%	8 0.078%	8 0.079%	8 0.080%	8 0.081%
当期の収益	7	8	6	6	6	6
当期の収益以外	0	—	1	1	1	1
翌期繰越分配対象額	168	234	216	106	100	99

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3）

元利金収入を再投資するとともに、ポートフォリオ全体のデュレーション・ポジションを維持していく方針です。新型コロナウイルスによる影響が深刻化する場合には、ポジションを小幅に調整してニュートラルとする方針です。

主として、金融機関が保有する債権を担保とするデンマーク・クローネ建てのカバードボンドに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2020年10月17日～2021年 4 月16日）

項 目	第20期～第25期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	18	0.181	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(16)	(0.159)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(1)	(0.005)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.015	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(0)	(0.004)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	20	0.196	
作成期間の平均基準価額は、10,113円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2020年10月17日～2021年4月16日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第20期～第25期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3	千口	千円	千口	千円
	—	—	1,362,358	1,419,486

○利害関係人との取引状況等

（2020年10月17日～2021年4月16日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2020年10月17日～2021年4月16日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2020年10月17日～2021年4月16日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2021年4月16日現在）

親投資信託残高

銘	柄	第19期末	第25期末	
		口数	口数	評価額
デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3		千口	千口	千円
		14, 707, 079	13, 344, 720	13, 578, 253

（注）親投資信託の2021年4月16日現在の受益権総口数は、13,902,292千口です。

○投資信託財産の構成

（2021年4月16日現在）

項 目	第25期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3	13,578,253	99.5
コール・ローン等、その他	69,840	0.5
投資信託財産総額	13,648,093	100.0

（注）比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

（注）デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3において、当作成期末における外貨建純資産（14,395,308千円）の投資信託財産総額（14,407,992千円）に対する比率は99.9%です。

（注）外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1デンマーククローネ=17.49円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第20期末	第21期末	第22期末	第23期末	第24期末	第25期末
	2020年11月16日現在	2020年12月16日現在	2021年1月18日現在	2021年2月16日現在	2021年3月16日現在	2021年4月16日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	15,185,980,610	15,052,178,527	14,546,305,912	14,204,263,957	13,947,302,480	13,648,093,300
コール・ローン等	37,674,020	78,632,613	76,974,755	44,255,448	71,335,955	69,840,297
デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3（償還）	15,015,050,183	14,911,262,190	14,469,331,157	14,058,164,684	13,875,966,525	13,578,253,003
未収入金	133,256,407	62,283,724	—	101,843,825	—	—
(B) 負債	96,148,208	66,847,823	16,964,589	76,128,324	15,900,226	16,280,571
未払収益分配金	11,872,378	11,713,251	11,377,040	11,183,300	11,147,582	11,019,517
未払解約金	78,999,998	49,999,999	—	60,000,000	—	—
未払信託報酬	4,692,131	4,477,414	4,847,261	4,139,935	3,884,258	4,233,195
未払利息	25	50	24	9	18	7
その他未払費用	583,676	657,109	740,264	805,080	868,368	1,027,852
(C) 純資産総額（A－B）	15,089,832,402	14,985,330,704	14,529,341,323	14,128,135,633	13,931,402,254	13,631,812,729
元本	14,840,473,444	14,641,564,811	14,221,300,219	13,979,125,489	13,934,478,203	13,774,397,142
次期繰越損益金	249,358,958	343,765,893	308,041,104	149,010,144	△ 3,075,949	△ 142,584,413
(D) 受益権総口数	14,840,473,444口	14,641,564,811口	14,221,300,219口	13,979,125,489口	13,934,478,203口	13,774,397,142口
1万口当たり基準価額（C／D）	10,168円	10,235円	10,217円	10,107円	9,998円	9,896円

（注）当ファンドの第20期首元本額は15,085,171,779円、第20～25期中追加設定元本額は0円、第20～25期中一部解約元本額は1,310,774,637円です。

（注）1口当たり純資産額は、第20期1.0168円、第21期1.0235円、第22期1.0217円、第23期1.0107円、第24期0.9998円、第25期0.9896円です。

（注）2021年4月16日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は142,584,413円です。

○損益の状況

項 目	第20期	第21期	第22期	第23期	第24期	第25期
	2020年10月17日～ 2020年11月16日	2020年11月17日～ 2020年12月16日	2020年12月17日～ 2021年1月18日	2021年1月19日～ 2021年2月16日	2021年2月17日～ 2021年3月16日	2021年3月17日～ 2021年4月16日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 1,181	△ 1,256	△ 778	△ 279	△ 393	△ 249
受取利息	—	18	3	—	—	—
支払利息	△ 1,181	△ 1,274	△ 781	△ 279	△ 393	△ 249
(B) 有価証券売買損益	△ 20,433,539	114,042,971	△ 9,522,219	△138,367,542	△136,489,586	△124,107,822
売買益	416,501	114,791,867	167,793	453,950	121,242	45,651
売買損	△ 20,850,040	△ 748,896	△ 9,690,012	△138,821,492	△136,610,828	△124,153,473
(C) 信託報酬等	△ 4,798,879	△ 4,579,274	△ 4,957,541	△ 4,234,119	△ 3,972,627	△ 4,416,212
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 25,233,599	109,462,441	△ 14,480,538	△142,601,940	△140,462,606	△128,524,283
(E) 前期繰越損益金	74,015,403	36,414,715	130,312,960	102,676,582	△ 50,945,428	△200,228,584
(F) 追加信託差損益金	212,449,532	209,601,988	203,585,722	200,118,802	199,479,667	197,187,971
(配当等相当額)	(20,327,076)	(20,054,624)	(19,478,991)	(19,147,278)	(19,086,126)	(18,866,857)
(売買損益相当額)	(192,122,456)	(189,547,364)	(184,106,731)	(180,971,524)	(180,393,541)	(178,321,114)
(G) 計 (D + E + F)	261,231,336	355,479,144	319,418,144	160,193,444	8,071,633	△131,564,896
(H) 収益分配金	△ 11,872,378	△ 11,713,251	△ 11,377,040	△ 11,183,300	△ 11,147,582	△ 11,019,517
次期繰越損益金 (G + H)	249,358,958	343,765,893	308,041,104	149,010,144	△ 3,075,949	△142,584,413
追加信託差損益金	212,449,532	209,601,988	203,585,722	200,118,802	199,479,667	197,187,971
(配当等相当額)	(20,327,076)	(20,054,624)	(19,478,991)	(19,147,278)	(19,086,126)	(18,866,857)
(売買損益相当額)	(192,122,456)	(189,547,364)	(184,106,731)	(180,971,524)	(180,393,541)	(178,321,114)
分配準備積立金	98,124,518	134,163,905	128,338,151	123,623,171	120,718,695	117,528,031
繰越損益金	△ 61,215,092	—	△ 23,882,769	△174,731,829	△323,274,311	△457,300,415

(注) 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2020年10月17日～2021年4月16日の期間に当ファンドが負担した費用は18,049,420円です。

(注) 分配金の計算過程（2020年10月17日～2021年4月16日）は以下の通りです。

項 目	2020年10月17日～ 2020年11月16日	2020年11月17日～ 2020年12月16日	2020年12月17日～ 2021年1月18日	2021年1月19日～ 2021年2月16日	2021年2月17日～ 2021年3月16日	2021年3月17日～ 2021年4月16日
a. 配当等収益(経費控除後)	10,545,970円	13,885,362円	9,402,231円	8,653,827円	8,637,931円	9,215,714円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金繰戻後)	0円	35,182,476円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	151,234,440円	209,601,988円	179,702,953円	25,386,973円	19,086,126円	18,866,857円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	99,450,926円	96,809,318円	130,312,960円	126,152,644円	123,228,346円	119,331,834円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	261,231,336円	355,479,144円	319,418,144円	160,193,444円	150,952,403円	147,414,405円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	176円	242円	224円	114円	108円	107円
g. 分配金	11,872,378円	11,713,251円	11,377,040円	11,183,300円	11,147,582円	11,019,517円
h. 分配金(1万口当たり)	8円	8円	8円	8円	8円	8円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第20期	第21期	第22期	第23期	第24期	第25期
1 万口当たり分配金（税込み）	8円	8円	8円	8円	8円	8円

○お知らせ

約款変更について

2020年10月17日から2021年4月16日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

デンマーク・カバードボンド（為替ヘッジあり）マザーファンド3

運用報告書

第2期（決算日 2020年10月16日）
 （2019年10月17日～2020年10月16日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2019年3月15日から原則無期限です。
運用方針	主として、デンマークのカバードボンドに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	デンマークのカバードボンドを主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、金融機関が保有する債権を担保とするデンマーク・クローネ建てのカバードボンドに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

ポートフォリオの構築にあたっては、発行体の信用力や利回りの水準などを重視し、リスク分散を考慮しながら決定します。

外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないます。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<639079>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率			
(設定日)	円	%	%		百万円
2019年3月15日	10,000	—	—		436
1期(2019年10月16日)	10,181	1.8	101.0		19,034
2期(2020年10月16日)	10,412	2.3	99.7		15,942

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比	券 率
		騰 落 率		
(期 首)	円	%		%
2019年10月16日	10,181	—	101.0	
10月末	10,159	△0.2	102.2	
11月末	10,161	△0.2	101.4	
12月末	10,167	△0.1	103.5	
2020年1月末	10,255	0.7	98.8	
2月末	10,306	1.2	98.0	
3月末	10,016	△1.6	98.8	
4月末	10,094	△0.9	96.9	
5月末	10,154	△0.3	99.8	
6月末	10,250	0.7	101.1	
7月末	10,318	1.3	102.7	
8月末	10,322	1.4	103.7	
9月末	10,387	2.0	101.7	
(期 末)				
2020年10月16日	10,412	2.3	99.7	

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2019年10月17日～2020年10月16日)

基準価額の推移

期間の初め10,181円の基準価額は、期間末に10,412円となり、騰落率は+2.3%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

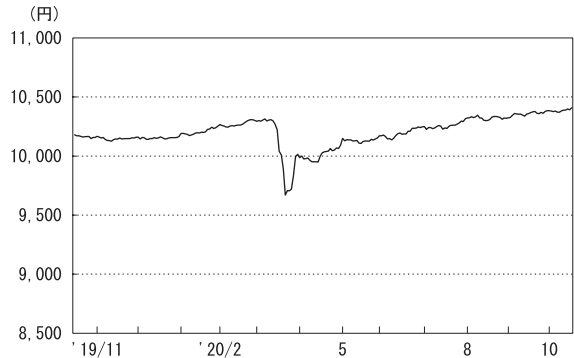
<値上がり要因>

- ・投資債券からインカム収入を得たこと。
- ・投資債券の利回りが低下（債券価格は上昇）したこと。

<値下がり要因>

- ・期限前償還が加速したこと。
- ・信用スプレッド（利回り格差）が拡大したこと。

基準価額の推移



期 首	期中高値	期中安値	期 末
2019/10/16	2020/10/16	2020/03/23	2020/10/16
10,181円	10,412円	9,670円	10,412円

(デンマーク債券市況)

期間中のデンマーク債券市況は、2020年にかけてはリフレ見通し、2020年3月には新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに市場が大幅に下落した後は、期間末に向けて回復しました。米国連邦準備制度理事会（FRB）および欧州中央銀行（ECB）は、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的な大流行）によるリスク資産の非常に大幅な下落に対処するために、ともに政策金利を低水準に引き下げました。ECBが利下げを実施するとともに量的緩和の再開を行なうなか、デンマークの中央銀行はデンマーククローネのユーロに対するペッグ制を安定的に維持するために、利下げの動きに反して政策金利を引き上げました。

期間中のNycredit Totalインデックスは、国債に対するオプション調整後スプレッドが拡大したものの、円ベースのトータルリターンはプラスとなり、同等年限の国債に対する超過リターンもプラスとなりました。期限前償還については動きが落ち着くなかデュレーション（金利感応度）は短期化して3.54年となりました。

欧州では、新型コロナウイルスのパンデミックの深刻さや域内の大部分の政府が実施した前例のないウイルスの封じ込め措置が、経済活動に非常に大きな打撃をもたらしました。生活に必要な不可欠ではないセクタ

一の大半が事業を停止したため、ユーロ圏の景気後退は避けられず、2020年の第1四半期に経済は前期比で3.6%縮小した後、第2四半期は同12.1%縮小しました。月次で発表される経済指標では、第2四半期当初に顕著な景気回復が示され、製造業およびサービス部門の購買担当者景気指数（PMI）は50を十分に上回り、堅固なモメンタムが示唆されました。しかしより最近では、欧州諸国の大部分で新型コロナウイルスの新規感染者数が急速に増加していることを受けて経済活動は顕著に鈍化しており、直近のサービス部門のPMIは市場予想を大幅に下回る47.6へと落ち込みました。新型コロナウイルスの感染拡大第2波が進んでいることが懸念される兆候があり、その深刻度合いが欧州の景気後退の大きさを最も決定づけるとみられます。

パンデミックを受けて、クリスティーヌ・ラガルドECB総裁は新設したパンデミック緊急購入プログラム（PEPP）のもとで債券購入プログラムを合計1.35兆ユーロ拡大するという大胆な計画を発表し、特徴的なバズーカ砲の方法で市場に衝撃を与えました。純資産購入の期間は少なくとも2021年の半ばまで続けとし、その後も新型コロナウイルスの感染拡大の「危機的な局面」が収束したと判断するまで実施するとしていました。インフレの低迷が続くなか、PEPPの規模が5,000億ユーロ増額されとの見方が高まっています。

財政面では、欧州の首脳陣は7,500億ユーロの一時的な措置である「次世代のEU」基金に加えて、1.1兆ユーロの複数年にわたる金融枠組み（7年のEU予算）によって、前例のない規模の共同債の発行に合意しました。「次世代のEU」基金は、加盟国の新型コロナウイルスの感染拡大による景気後退からの回復支援を目的とした直接的な措置です。この基金は、市場で7,500億ユーロを調達し、EU予算を通じて向こう30年にわたり償還される計画となっています。

ポートフォリオ

全体的なバリュエーション（価値評価）水準に留意しつつ、足元の大幅なリスクプレミアムがモーゲージ債に織り込まれていることを受けて、期限前償還分を再投資するとともにデュレーションをやや長めに維持しました。

○今後の運用方針

元利金収入を再投資するとともに、全体的なデュレーション・ポジショニングを維持することをめざします。新型コロナウイルスによる影響が深刻化する場合には、ポジションを小幅に調整してニュートラルとする方針です。

主として、金融機関が保有する債権を担保とするデンマーク・クローネ建てのカバードボンドに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年10月17日～2020年10月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 3	% 0.029	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.017)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.012)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	3	0.029	
期中の平均基準価額は、10,215円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2019年10月17日～2020年10月16日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	デンマーク	社債券（投資法人債券を含む）	千デンマーククローネ 482,636	千デンマーククローネ 425,325 (299,603)

(注) 金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年10月17日～2020年10月16日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 3	百万円 3	% 100.0	百万円 3	百万円 3	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年10月17日～2020年10月16日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2020年10月16日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
デンマーク	千デンマーククローネ 943,066	千デンマーククローネ 959,410	千円 15,897,426	% 99.7	% —	% 99.7	% —	% —
合 計	943,066	959,410	15,897,426	99.7	—	99.7	—	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末				
	利 率	額面金額	評 価 額	外貨建金額	邦貨換算金額
(デンマーク) 普通社債券(含む投資法人債券)	%	千デンマーククローネ	千デンマーククローネ	千円	償還年月日
JYSKE REALKREDIT A/S	2.0	7,213	7,524	124,684	2047/10/1
JYSKE REALKREDIT A/S	1.5	25,310	26,012	431,025	2050/10/1
JYSKE REALKREDIT A/S	1.0	121,110	121,706	2,016,670	2050/10/1
JYSKE REALKREDIT A/S	1.0	110,185	111,298	1,844,208	2050/10/1
NORDEA KREDIT REALKREDIT	1.5	59,229	61,485	1,018,816	2040/10/1
NORDEA KREDIT REALKREDIT	0.5	31,093	31,118	515,626	2040/10/1
NORDEA KREDIT REALKREDIT	2.0	27,435	28,508	472,382	2047/10/1
NORDEA KREDIT REALKREDIT	2.0	10,594	11,049	183,093	2047/10/1
NORDEA KREDIT REALKREDIT	1.5	49,703	51,077	846,358	2050/10/1
NORDEA KREDIT REALKREDIT	1.0	77,879	78,289	1,297,264	2050/10/1
NYKREDIT REALKREDIT AS	1.5	51,421	53,372	884,377	2040/10/1
NYKREDIT REALKREDIT AS	2.0	11,031	11,505	190,643	2047/10/1
NYKREDIT REALKREDIT AS	2.0	16,530	17,176	284,618	2047/10/1

銘 柄	当 期 末				
	利 率	額面金額	評 価 額	外貨建金額	邦貨換算金額
(デンマーク) 普通社債券(含む投資法人債券)	%	千デンマーククローネ	千デンマーククローネ	千円	償還年月日
NYKREDIT REALKREDIT AS	1.5	23,444	24,096	399,278	2050/10/1
NYKREDIT REALKREDIT AS	1.0	55,224	55,745	923,710	2050/10/1
NYKREDIT REALKREDIT AS	1.0	57,465	57,681	955,789	2050/10/1
REALKREDIT DANMARK	1.5	34,651	35,971	596,054	2040/10/1
REALKREDIT DANMARK	2.0	8,606	8,975	148,720	2047/10/1
REALKREDIT DANMARK	2.0	18,593	19,321	320,160	2047/10/1
REALKREDIT DANMARK	1.5	25,714	26,419	437,772	2050/10/1
REALKREDIT DANMARK	1.0	77,626	77,913	1,291,021	2050/10/1
REALKREDIT DANMARK	1.0	43,000	43,159	715,146	2053/10/1
合 計				15,897,426	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2020年10月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 15,897,426	% 99.5
コール・ローン等、その他	79,175	0.5
投資信託財産総額	15,976,601	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（15,911,919千円）の投資信託財産総額（15,976,601千円）に対する比率は99.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1デンマーククローネ=16.57円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年10月16日現在）

項 目	当 期 末 円
(A) 資産	31,461,430,099
コール・ローン等	10,009,560
公社債(評価額)	15,897,426,689
未収入金	15,546,080,135
未収利息	7,816,907
前払費用	96,808
(B) 負債	15,518,951,718
未払金	15,518,951,717
未払利息	1
(C) 純資産総額(A－B)	15,942,478,381
元本	15,311,462,089
次期繰越損益金	631,016,292
(D) 受益権総口数	15,311,462,089口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,412円

(注) 当ファンドの期首元本額は18,696,405,542円、期中追加設定元本額は118,896,964円、期中一部解約元本額は3,503,840,417円です。

(注) 2020年10月16日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・デンマーク・カバードボンド・ファンド
（為替ヘッジあり・適格機関投資家向け） 14,707,079,208円
- ・グローバル担保付き債券ファンド（為替ヘッジあり） 604,382,881円

(注) 1口当たり純資産額は1.0412円です。

○損益の状況（2019年10月17日～2020年10月16日）

項 目	当 期 円
(A) 配当等収益	227,564,712
受取利息	229,707,080
支払利息	△ 2,142,368
(B) 有価証券売買損益	131,039,187
売買益	810,296,508
売買損	△679,257,321
(C) 保管費用等	△ 2,857,584
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	355,746,315
(E) 前期繰越損益金	338,281,778
(F) 追加信託差損益金	3,505,820
(G) 解約差損益金	△ 66,517,621
(H) 計(D＋E＋F＋G)	631,016,292
次期繰越損益金(H)	631,016,292

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2019年10月17日から2020年10月16日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／国内／債券	
信 託 期 間	信託期間は2010年6月14日から無期限です。	
運 用 方 針	主として、「短期金融資産 マザーファンド」の受益証券への投資を通じて、わが国の短期金融資産等（短期公社債および短期金融商品を含みます。以下同じ。）を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目標として運用を行います。	
主要運用対象	FOFs用 短期金融資産ファンド （適格機関投資家専用）	下記のマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	短期金融資産 マザーファンド	わが国の短期金融資産等を主要投資対象とします。
組 入 制 限	FOFs用 短期金融資産ファンド （適格機関投資家専用）	外貨建資産への投資は行いません。
	短期金融資産 マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として以下の方針にもとづき、分配を行います。 (1) 分配対象額の範囲 経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 (2) 分配対象額についての分配方針 委託者が、基準価額水準、市況動向等を考慮して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

FOFs用短期金融資産ファンド
（適格機関投資家専用）

運用報告書（全体版）

第10期（決算日 2020年9月25日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
さて、当ファンドはこのたび上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申しあげます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあげます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目1番1号

ホームページ <https://www.smtam.jp/>

- 口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
■当運用報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル：0120-668001
（受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。）

【本運用報告書の記載について】

- ・基準価額および税込分配金は1万口当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・－印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 金 配 分	期 騰 落 率			
	円	円	%	%	%	百万円
第 6期(2016年9月26日)	9,962	0	△0.1	35.9	—	4
第 7期(2017年9月25日)	9,941	0	△0.2	3.9	—	6
第 8期(2018年9月25日)	9,920	0	△0.2	3.7	—	9
第 9期(2019年9月25日)	9,897	0	△0.2	—	—	115
第10期(2020年9月25日)	9,879	0	△0.2	—	—	15

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
(注3) 債券先物比率は「買建比率－売建比率」で算出しております。

当期中の基準価額の推移

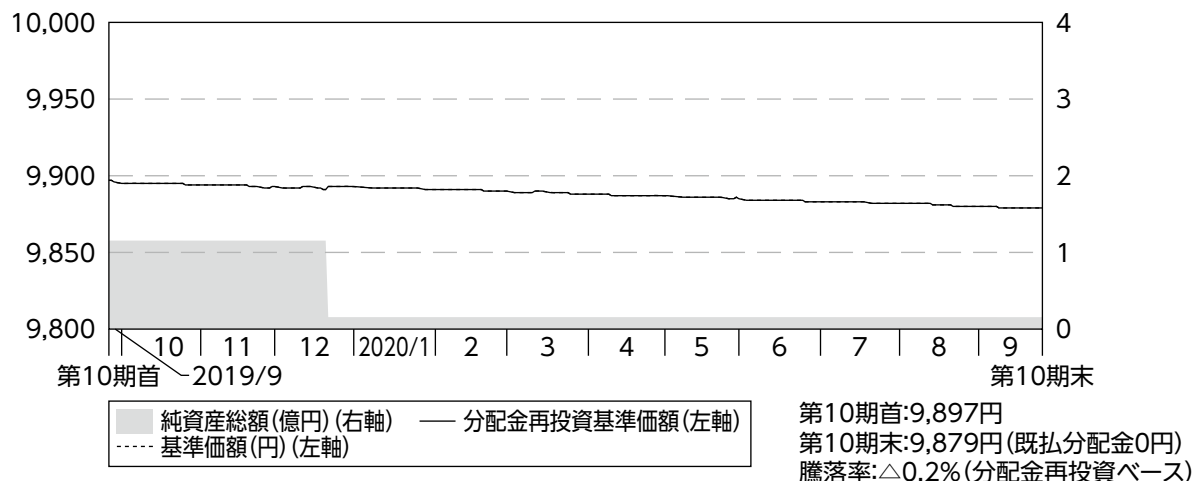
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
(当 期 首) 2019年 9月25日	円 9,897	% —	% —	% —
9月末	9,895	△0.0	—	—
10月末	9,894	△0.0	—	—
11月末	9,893	△0.0	—	—
12月末	9,893	△0.0	—	—
2020年 1月末	9,891	△0.1	—	—
2月末	9,890	△0.1	—	—
3月末	9,888	△0.1	—	—
4月末	9,887	△0.1	—	—
5月末	9,885	△0.1	—	—
6月末	9,883	△0.1	—	—
7月末	9,882	△0.2	—	—
8月末	9,880	△0.2	—	—
(当 期 末) 2020年 9月25日	9,879	△0.2	—	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
(注3) 債券先物比率は「買建比率－売建比率」で算出しております。

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

当期中の運用経過と今後の運用方針

基準価額等の推移

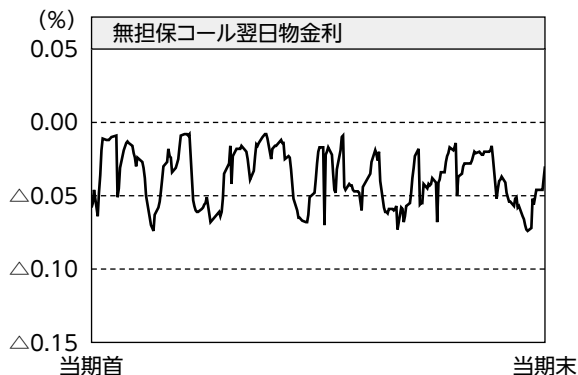


- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2019年9月25日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策が継続され、引き続き良好な国債需給環境が継続したことから、当期の短期国債利回りはマイナス圏で推移しました。また、日銀は当座預金の一部に△0.1%のマイナス金利を適用する方針を維持したことから、無担保コール翌日物金利は概ね△0.08～△0.01%近辺で推移しました。このような中、コールローン等の比率を高めた運用を行いましたが、マイナス利回りや信託報酬などの要因により、基準価額(分配金再投資ベース)は小幅に下落しました。

投資環境



日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策が継続され、引き続き良好な国債需給環境が継続したことから、当期の短期国債利回りは概ねマイナス圏で推移しました。また、日銀は当座預金の一部に△0.1%のマイナス金利を適用する方針を維持したことから、無担保コール翌日物金利は概ね△0.08～△0.01%近辺で推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

主要投資対象である「短期金融資産 マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れ、これを維持しました。

【「短期金融資産 マザーファンド」の運用経過】

日銀の金融緩和継続により短期国債のマイナス金利が常態化する中、コールローン等の比率を高めた運用を行い、市場運用ができない資金は受託銀行の金銭信託へ預け入れました。

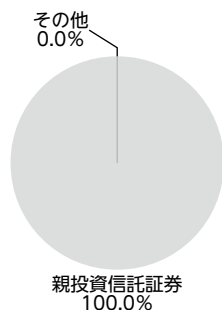
当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド

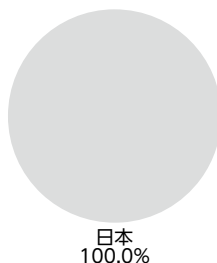
	当期末
	2020年9月25日
短期金融資産 マザーファンド	100.0%
その他	0.0%
組入ファンド数	1

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

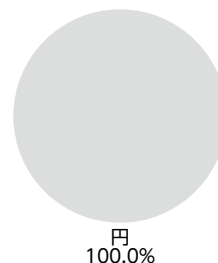
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注)資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

分配金

基準価額水準、市況動向等を考慮して、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目		第10期
		2019年9月26日～2020年9月25日
当期分配金	(円)	—
(対基準価額比率)	(%)	(—)
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	483

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)—印は該当がないことを示します。

今後の運用方針

主として、短期金融資産 マザーファンドの受益証券への投資を通じて、わが国の短期金融資産等(短期公社債および短期金融商品を含みます。)を中心に投資を行います。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2019年9月26日～2020年9月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	14円	0.143%	(a) 信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,888円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(11)	(0.110)	
(販売会社)	(1)	(0.011)	
(受託会社)	(2)	(0.022)	
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{〔期中の売買委託手数料〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(－)	(－)	
(新株予約権証券)	(－)	(－)	
(オプション証券等)	(－)	(－)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(商品)	(－)	(－)	
(先物・オプション)	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝ $\frac{〔期中の有価証券取引税〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(－)	(－)	
(新株予約権証券)	(－)	(－)	
(オプション証券等)	(－)	(－)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(－)	(－)	
(公社債)	(－)	(－)	
(投資信託証券)	(－)	(－)	
(d) その他費用	1	0.005	(d) その他費用＝ $\frac{〔期中のその他費用〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託預入に係る手数料等
(保管費用)	(－)	(－)	
(監査費用)	(1)	(0.005)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	15	0.148	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

売買および取引の状況

<親投資信託受益証券の設定、解約状況>

	当 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
短期金融資産 マザーファンド	千口 9	千円 9	千口 98,554	千円 99,805

利害関係人[※]との取引状況等

■利害関係人との取引状況

区 分	当 期					
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金 銭 信 託	百万円 0.004352	百万円 0.004352	% 100.0	百万円 0.004352	百万円 0.004352	% 100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン	9	1	11.1	9	1	11.1

(注)当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

<短期金融資産 マザーファンド>

区 分	当 期					
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金 銭 信 託	百万円 2,717	百万円 2,717	% 100.0	百万円 2,717	百万円 2,717	% 100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン	4,374,378	666,575	15.2	4,373,871	668,664	15.3

<平均保有割合 0.2%>

(注1) 平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合です。

(注2) 当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

※ 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

< 親投資信託残高 >

	当 期 首(前 期 末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
短 期 金 融 資 産 マ ザ ー フ ァ ン ド	千口 113,922	千口 15,377	千円 15,568

(注) 親投資信託の当期末現在の受益権総口数は、9,234,430千口です。

投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
短 期 金 融 資 産 マ ザ ー フ ァ ン ド	千円 15,568	% 99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	21	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	15,589	100.0

資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	当 期 末 2020年9月25日現在
(A) 資 産	15,589,372円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	20,821
短期金融資産 マザーファンド(評価額)	15,568,469
未 収 入 金	82
(B) 負 債	13,176
未 払 信 託 報 酬	11,101
そ の 他 未 払 費 用	2,075
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	15,576,196
元 本	15,767,297
次 期 繰 越 損 益 金	△191,101
(D) 受 益 権 総 口 数	15,767,297口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,879円

■損益の状況

項 目	当 期 自 2019年9月26日 至 2020年9月25日
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	29,549円
売 買 益	19,700
売 買 損	9,849
(B) 信 託 報 酬 等	△57,669
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	△28,120
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△28,372
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△134,609
(配 当 等 相 当 額)	(748,899)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△883,508)
(F) 計 (C+D+E)	△191,101
(G) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F+G)	△191,101
追 加 信 託 差 損 益 金	△134,609
(配 当 等 相 当 額)	(748,899)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△883,508)
分 配 準 備 積 立 金	12,737
繰 越 損 益 金	△69,229

- (注1) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

※当ファンドの期首元本額は116,655,179円、期中追加設定元本額は10,111円、期中一部解約元本額は100,897,993円です。

※分配金の計算過程

項 目	当 期
(A) 配当等収益額(費用控除後)	－円
(B) 有価証券売買等損益額(費用控除後・繰越欠損金補填後)	－円
(C) 収益調整金額	748,899円
(D) 分配準備積立金額	12,737円
(E) 分配対象収益額(A+B+C+D)	761,636円
(F) 期末残存口数	15,767,297口
(G) 収益分配対象額(1万口当たり) (E/F×10,000)	483円
(H) 分配金額(1万口当たり)	－円
(I) 収益分配金金額(F×H/10,000)	－円

お知らせ

当ファンドの運用実態を踏まえ、デリバティブ取引の利用目的を明確化するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(変更日:2020年3月14日)

短期金融資産 マザーファンド

運用報告書

第13期（決算日 2020年9月25日）

当親投資信託の仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は2007年9月26日から無期限です。
運用方針	わが国の短期金融資産等(短期公社債および短期金融商品を含みます。以下同じ。)を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の短期金融資産等を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

当親投資信託はこのたび上記の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

【本運用報告書の記載について】

- ・基準価額は1万口当たりで表記しています。
- ・原則として、数量、額面、金額の表記未满是切捨て、比率は四捨五入で表記しています。
- ・一印は、組入、異動等の該当がないことを示します。
- ・指数に関する著作権等の知的財産権およびその他の一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		参 考 指 数		債 券 先 物 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比	純 資 産 額
	期 騰	中 落 率	期 騰	中 落 率			
第 9 期 (2016年9月26日)	円 10,153	% 0.0	10,116	% 0.0	% 36.0	% —	百万円 7,659
第10期 (2017年9月25日)	10,146	△0.1	10,111	△0.0	3.9	—	7,717
第11期 (2018年9月25日)	10,138	△0.1	10,106	△0.1	3.7	—	8,170
第12期 (2019年9月25日)	10,129	△0.1	10,100	△0.1	—	—	8,839
第13期 (2020年9月25日)	10,124	△0.0	10,096	△0.0	—	—	9,348

(注) 債券先物比率は「買建比率－売建比率」で算出しております。

当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		債 券 先 物 率 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
	期 騰	中 落 率	期 騰	中 落 率		
(当 期 首) 2019年 9月25日	円 10,129	% —	10,100	% —	% —	% —
9月末	10,128	△0.0	10,099	△0.0	—	—
10月末	10,128	△0.0	10,099	△0.0	—	—
11月末	10,128	△0.0	10,099	△0.0	—	—
12月末	10,127	△0.0	10,099	△0.0	—	—
2020年 1月末	10,127	△0.0	10,098	△0.0	—	—
2月末	10,127	△0.0	10,098	△0.0	—	—
3月末	10,126	△0.0	10,098	△0.0	—	—
4月末	10,126	△0.0	10,097	△0.0	—	—
5月末	10,126	△0.0	10,097	△0.0	—	—
6月末	10,125	△0.0	10,097	△0.0	—	—
7月末	10,125	△0.0	10,096	△0.0	—	—
8月末	10,124	△0.0	10,096	△0.0	—	—
(当 期 末) 2020年 9月25日	10,124	△0.0	10,096	△0.0	—	—

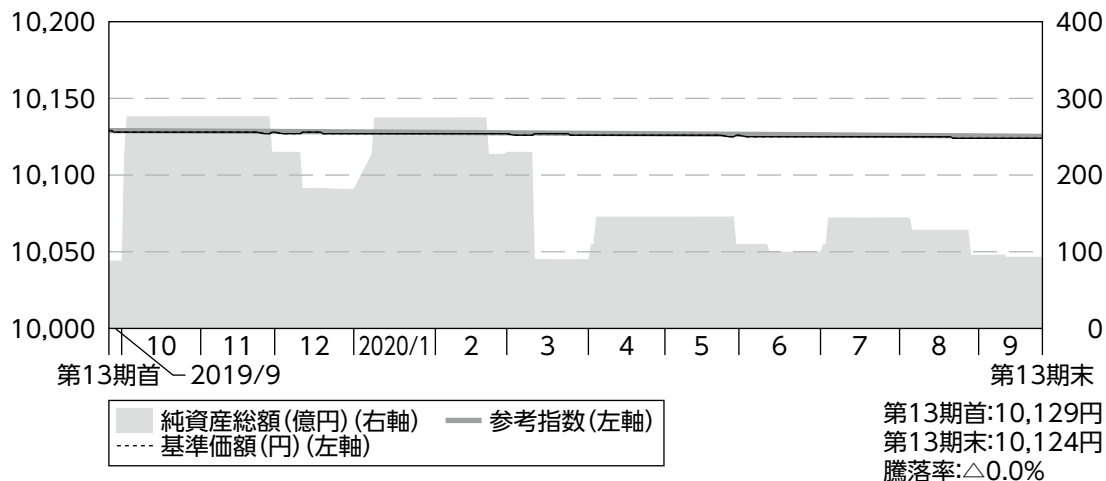
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は「買建比率－売建比率」で算出しております。

参考指数は、無担保コール翌日物金利の累積投資収益率で、設定日を10,000として指数化しております。

当期中の運用経過と今後の運用方針

基準価額等の推移

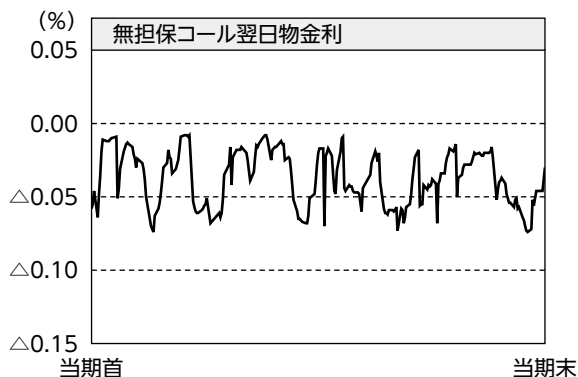


(注)参考指数は、2019年9月25日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策が継続され、引き続き良好な国債需給環境が継続したことから、当期の短期国債利回りはマイナス圏で推移しました。また、日銀は当座預金の一部に△0.1%のマイナス金利を適用する方針を維持したことから、無担保コール翌日物金利は概ね△0.08～△0.01%近辺で推移しました。このような中、コールローン等の比率を高めた運用を行い、基準価額は横ばい推移となりました。

投資環境



日銀による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策が継続され、引き続き良好な国債需給環境が継続したことから、当期の短期国債利回りは概ねマイナス圏で推移しました。また、日銀は当座預金の一部に $\Delta 0.1\%$ のマイナス金利を適用する方針を維持したことから、無担保コール翌日物金利は概ね $\Delta 0.08 \sim \Delta 0.01\%$ 近辺で推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

日銀の金融緩和継続により短期国債のマイナス金利が常態化する中、コールローン等の比率を高めた運用を行い、市場運用ができない資金は受託銀行の金銭信託へ預け入れました。

当ファンドの組入資産の内容

○上位10銘柄

当期末における該当事項はありません。

○資産別配分



短期金融資産等
100.0%

○国別配分



日本
100.0%

○通貨別配分



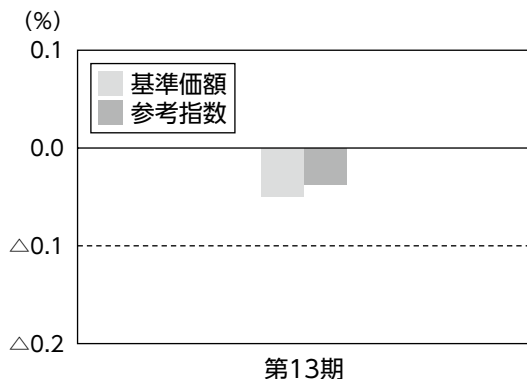
円
100.0%

(注)比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



今後の運用方針

わが国の短期金融資産等(短期公社債および短期金融商品を含みます。)を中心に投資を行い、わが国の無担保コール翌日物金利の累積投資収益率を上回る運用成果をめざします。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 (2019年9月26日~2020年9月25日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式) (新株予約権証券) (オプション証券等) (新株予約権付社債(転換社債)) (投資信託証券) (商品) (先物・オプション)	-円 (-) (-) (-) (-) (-) (-)	-% (-) (-) (-) (-) (-) (-)	(a) 売買委託手数料 = $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株式) (新株予約権証券) (オプション証券等) (新株予約権付社債(転換社債)) (公社債) (投資信託証券)	- (-) (-) (-) (-) (-)	- (-) (-) (-) (-) (-)	(b) 有価証券取引税 = $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	0 (-) (-) (0)	0.000 (-) (-) (0.000)	(c) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託預入に係る手数料等
合計	0	0.000	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額(10,126円)で除して100を乗じたものです。

売買および取引の状況

当期中における該当事項はありません。

利害関係人※との取引状況等

■利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
金 銭 信 託	百万円 2,717	百万円 2,717	% 100.0	百万円 2,717	百万円 2,717	% 100.0
コ ー ル ・ ロ ー ン	4,374,378	666,575	15.2	4,373,871	668,664	15.3

(注) 当該取引に係る利害関係人は、三井住友信託銀行株式会社です。

組入資産の明細

当期末における該当事項はありません。

投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 9,350,286	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	9,350,286	100.0

※ 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

資産、負債、元本および基準価額の状況ならびに損益の状況

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	当 期 末 2020年9月25日現在
(A)資 産	9,350,286,816円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	9,350,286,816
(B)負 債	1,441,891
未 払 解 約 金	1,430,082
未 払 利 息	11,809
(C)純 資 産 総 額 (A-B)	9,348,844,925
元 本	9,234,430,779
次 期 繰 越 損 益 金	114,414,146
(D)受 益 権 総 口 数	9,234,430,779口
1万口当たり基準価額 (C/D)	10,124円

■損益の状況

項 目	当 期 自 2019年9月26日 至 2020年9月25日
(A)配 当 等 収 益	△8,256,605円
受 取 利 息	62,186
支 払 利 息	△8,318,791
(B)そ の 他 費 用	△20,510
(C)当 期 損 益 金 (A+B)	△8,277,115
(D)前 期 繰 越 損 益 金	112,176,004
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	487,039,330
(F)解 約 差 損 益 金	△476,524,073
(G)計 (C+D+E+F)	114,414,146
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	114,414,146

(注1) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

※当ファンドの期首元本額は8,727,644,976円、期中追加設定元本額は38,322,395,751円、期中一部解約元本額は37,815,609,948円です。

※当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は次の通りです。

バランスG(25)VA(適格機関投資家専用)	6,760,615,573円
DCターゲット・イヤー ファンド2025	2,321,282,475円
DCターゲット・イヤー ファンド2035	83,124,453円
DCターゲット・イヤー ファンド2045	40,627,081円
FOFs用 短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	15,377,785円
ブラジル高配当株オープン(毎月決算型)	9,880,568円
ブラジル国債ファンド(毎月分配型)	2,120,953円
米国成長株式ファンド	493,486円
DCターゲット・イヤー ファンド2055	352,611円
アメリカ高配当株オープン(毎月決算型)	296,510円
ブラジル国債ファンド(年2回決算型)	140,627円
アメリカ高配当株オープン(年2回決算型)	98,901円
日本株配当戦略投信2020-09(適格機関投資家専用)	9,878円
北米株配当戦略投信2018-08(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	9,878円

お知らせ

当ファンドの運用実態を踏まえ、デリバティブ取引の利用目的を明確化するため、投資信託約款に
所要の変更を行いました。

(変更日:2020年3月14日)